実施条件と時間記録

使用する版を確認し、予定と実際の条件を分けて残します。

対象者ID	評価日	評価者／採点者

01　使用資料・実施条件

刺激図版名・版／配布元	
実施手順・採点法の出典／手引きの該当頁	
年齢／利き手／今回の使用手	過去の実施・練習歴（時期・内容）
眼鏡・視覚条件／姿勢・運動の制約	教示の理解／疲労・その他の影響

02　開始前の確認

- ☐ 正規図版・手引き・指定用紙・筆記具・時計を準備
- ☐ 照明と安定した机・座位、見え方、使用手、理解を確認
- ☐ 教示、再生間隔の起点、介在課題、終了判断を手引きで確認

03　課題別の時間記録

記録項目	模写	再生①	再生②
課題名／間隔			
開始時刻			
終了時刻			
描画所要時間			
間隔の起点時刻	該当なし		
実際の経過間隔	該当なし		

模写後は見本と模写用紙を回収。再生では前の描画を見せません。

再生①②の名称・間隔は採用版に合わせます。変更・中断は3ページへ。

採点原則と18要素の記録

一般的な18要素・36点法の日本語要約。要素の同定・許容範囲は正規手引きで確認。

対象者ID	評価日	評価者／採点者

04 形の正確さと位置を分けて判定

点	形・要素の状態	位置
2	正確に描かれている	正しい
1	正確に描かれている	不正確
1	歪み・不完全さがあるが、要素を認識できる	正しい
0.5	歪み・不完全さがあるが、要素を認識できる	不正確
0	欠如、または要素として認識できない	判定対象外

1点には2通りあります。線の美しさや速度だけで加減点しません。

05 要素別記録｜正規図版の番号と照合

要素番号	模写	再生①	再生②
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
課題別合計	/ 36	/ 36	/ 36

課題間で合算しない。未実施・中止・採点保留は0点で埋めず、3ページに理由を記録。

観察・判定保留・支援の記録

以下は独自の臨床記録欄です。観察した事実と解釈を分けて記入してください。

対象者ID	評価日	評価者／採点者

06 描画過程｜描き始め・順序・修正・中断・援助要求

07 実施条件の変更｜介在課題・追加教示・介助・時刻のずれ

08 未実施・中止・採点保留｜課題／要素番号・理由・再確認内容

09 解釈｜参照した基準値・年齢層／妨害因子／未確認事項

10 生活への接続｜追加評価・具体的な支援・確認する場面

欠損を推定点で補完しない。低得点だけで診断や生活自立を断定しない。

資料の範囲・出典

本資料は日本語解説と独自記録様式です。標準刺激、要素別詳細採点図版、再認刺激、基準値表は未収録。描画には採用版が指定する別紙を用いてください。

PAR：正規資料・製品情報	https://www.parinc.com/products/RCFT
Shin et al., 2006：実施法	https://doi.org/10.1038/nprot.2006.115
Langer et al., 2024：採点原則	https://doi.org/10.7554/eLife.96017.3

PAR版の複製・翻訳には事前許諾が必要。本資料はPAR用紙の複製・翻訳版ではありません。原著全文の逐語照合と公式日本語版の再配布許可は未確認です。